

地域貢献策について

1 はじめに

これからの廃棄物処理施設は、廃棄物の適正処理だけでなく、余熱利用や環境教育・環境学習の場、防災拠点としての活用などを通じて、地域における循環型社会の形成に寄与することが求められています。

ここでは、「ごみ処理広域化基本構想(令和 2 年 5 月)(以下「基本構想」という。)」において示した環境教育・環境学習を軸として、ごみ広域処理施設における地域貢献策を検討します。

2 地域貢献方針(案)

- ごみ広域処理施設の特性、資源を活かし、実現可能な地域貢献策を採用します。
- ごみ広域処理施設の敷地内にオープンスペースを設けるなど、地域住民にとって身近に活用できる施設となるような地域貢献策を実施します。

(1) 整備・運営コンセプトとの関係

地域貢献方針に基づいて地域貢献策を抽出すると、「余熱利用」、「災害対応」、「環境教育・環境学習」等が挙げられます。ごみ広域処理施設の整備・運営コンセプトとそれぞれの地域貢献策の関係は表 1 に示すとおりです。

表 1 整備・運営コンセプトと地域貢献策との関係

整備・運営 コンセプト	地域貢献策						
	余熱利用		災害 対応	環境教育・環境学習			
	場内	場外		施設 見学	啓 発 活 動	体 験 学 習	リ ュ ー ス リ ペ ア ス
	給電 湯力	売電					
経済性・効率性を確保した施設	○	○		○	○	○	○
安心かつ安全で安定性に優れ、長期稼働できる施設	○		○	○	○		
環境負荷が少なく、循環型社会の形成を推進する施設	○	○		○	○	○	○
地域社会に貢献できる施設		○	○	○	○	○	○
災害に対して強靱性を有する施設	○	○	○				

3 地域貢献策の検討

(1) 余熱利用（前述）

余熱利用については、「余熱利用方針」に基づき、蒸気や温水を場内で活用して残った余熱で発電を行います。

場内で有効に活用して残った電力は売電することで、電力供給や売電収入によるコスト削減を図ります。

(2) 災害対応（前述）

災害対応については、「浸水・地震対策方針」に基づき、災害廃棄物の受入・処理の実施や、災害時に周辺の施設利用者等に会議室やオープンスペースを一時避難所として開放します。

(3) 環境教育・環境学習

環境教育・環境学習については、「基本構想」で示した基本方針を踏まえ、「施設見学」、「啓発活動」、「体験工房」、「リユース・リペア」が挙げられます。

各実施案の内容は、表 2 に示すとおりです。

表 2 環境教育・環境学習実施案

	概 要	実 施 事 例		構成市 実施状況		ごみ広域処理施設での実施(案)	
		実施メニュー	必要設備	朝霞市	和光市		
施設見学	ごみ処理施設の処理工程にあった見学者ルートを整備し、小・中学校の施設見学や一般来場者・行政等の視察を受入れる	処理工程に沿った見学ルートの設置	場内見学ルート	○	×	○	設備や人員に係る大きな費用を要するものではないため、処理工程に沿って環境学習に適した見学ルートを設置する
		施設説明 (施設見学・視察の来場者に施設の説明をする)	会議室	○	○	○	見学者ルートとともに来場者に施設の説明をする場所として設ける(災害時は、一時避難所等としても活用する)
			視聴覚設備	○	○	○	来場者に施設の説明をするためのDVD/Blu-rayやモニター等の設備を設ける
		体験型展示 (来場者が触れて学べる環境学習設備を設ける)	実施に必要な展示物等	×	×	△	施設の基本設計・実施設計の段階で、事業費の範囲で実施できるものであれば実施する(事業者提案とする)
		施設模型	施設模型	○	○	○	構成市の既存施設でも実施しており、設備や人員に係る大きな費用を要さないため実施する
		施設建設経緯 (ごみ広域処理施設の建設までの経緯を説明するボードを設置する)	施設説明ボード	○	○	○	設備や人員に係る大きな費用を要さないため実施する(パネル学習と一緒に展示)
展示物等による啓発活動	施設見学等での来場者に対して、分かりやすく興味を引くような展示物を設けて、環境への関心を高める	映像、リーフレット等による学習	映像、音響設備	×	×	○	CG映像やAR技術の導入、デジタルサイネージ(電光掲示板)を活用し、陳腐化を防ぐとともに、スペースや必要人員を要さないように工夫する
			リーフレット・パンフレット等	×	×	○	設備や人員に係る大きな費用を要さないため実施する
		測定値表示モニター (発電量や排ガス測定値等を表示するモニターを設置する)	モニター設備	×	×	○	設備や人員に係る大きな費用を要さないため実施する
		パネル学習 (環境やごみ広域処理施設の内容を示したパネルを設置する)	展示パネル	○	○	○	設備や人員に係る大きな費用を要さないため実施する
		実物展示 (プラント設備模型や処理の過程で発生する資源物等を展示する)	実物模型	○	○	○	設備や人員に係る大きな費用を要さないため実施する
		車両用充電ステーション (発電した電気を電気自動車が充電するためのスタンドを設ける)	充電スタンド	×	×	△	環境学習、災害対応のため、設置を検討する
体験学習	子どもや親子連れ、主婦、地域の環境団体等を対象とした体験学習等の講座を実施する	環境学習講座 (3R、食品ロス、プラスチック問題等の講座を開催する)	実施に必要なスペース(会議室等)や工具等(機械、工具類作業台)	○	○	○	設備に係る大きな費用を要さないため実施する(講座用スペースとして、会議室等を貸出)
		工作・調理教室 (ペットボトル工作、調理教室などを開催する)		○	×	×	ごみ広域処理施設内ではなく、構成市が公民館等での事業として実施する
リユース リペアス	ごみとして排出された雑貨や図書、家具の中でまだ利用できそうなものについて、施設内で展示する また、定期的にフリーマーケットを開催する	再生品、不要品の展示、修理・販売	展示販売スペース 搬入搬出スペース 修理品等の保管場所	○	△	○	必要なスペースや人員が増加するが、構成市の既存施設で実施しているため、実施する(必要人員については、シルバー人材活用等を検討し、粗大ごみとして搬入されたもので再利用可能なものを無償提供する形態を基本とする(希望者が多い場合は抽選なども検討))
		フリーマーケットの開催	開催スペース	×	×	×	ニーズや集客性が不明なため、実施しない